

麻酔科管理症例の術後鎮痛の満足度

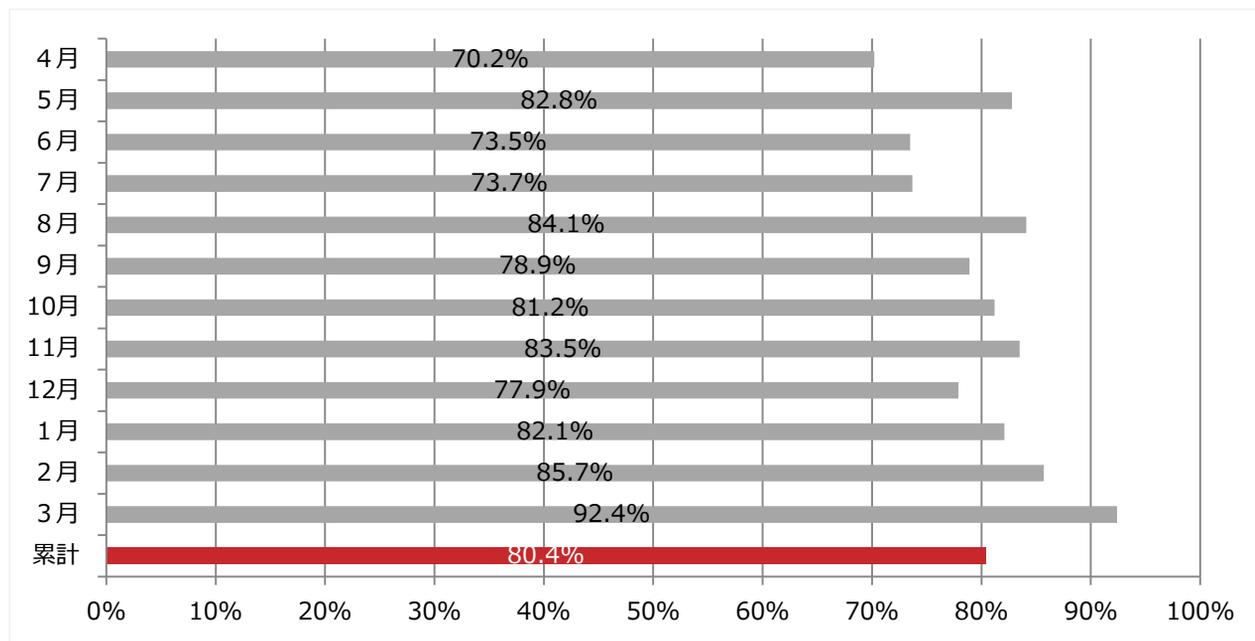
80.4 %

(平成31年4月～令和2年3月)

指標の説明

周術期管理において、術後の痛みは患者の精神的・身体的ストレスを増加させ、創傷治療や早期離床、術後の体力の回復に悪影響を及ぼすため、可能な限り軽減すべき要因です。麻酔科管理症例は、全例術後診察を行い、その鎮痛の度合いを評価・記録することで患者満足度の更なる向上を図っております。

(対象症例数：1,037例)



値の算出方法

(術後診察テンプレート・創部痛の「なし・自制内」の件数) / (麻酔科管理手術症例数) × 100 (%)

考察

当科では持続硬膜外麻酔や患者コントロール式静脈内鎮痛薬投与方法など、様々な方法で術後鎮痛を行っております。ただし、鎮痛に伴う血圧の低下や呼吸抑制・意識障害などの合併症は可能な限り発生しないように最大限の安全域を見込んだ薬剤使用量を決定していることが原因で、全症例の90%以上の鎮痛満足度に達していないと考えられます。

今後は、最大の安全性を確保しつつ、どれだけ鎮痛の満足度を増大させられるかが当科の課題であります。